

公共交通あんしん利用

コロナ禍におけるバス・タクシーの取組

バス・タクシーそれぞれが「新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン」を策定し、安全・安心な公共交通の利用に努めています

1 乗務員の体温測定、マスク着用、手指消毒



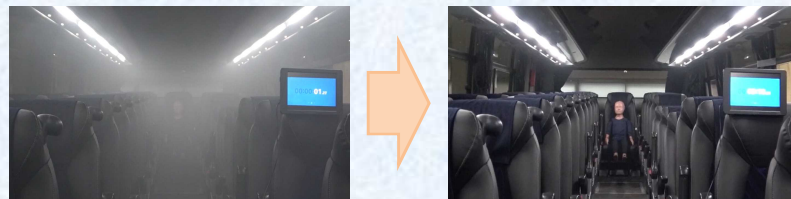
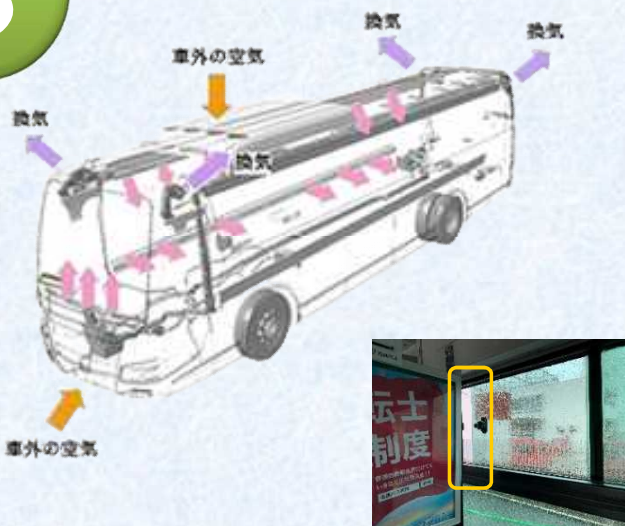
朝夕2回の体温測定を行い、乗務中のマスクの着用、定期的な手指消毒を徹底しています。

2 こまめな車内消毒の徹底



座席、つり革、手すり、など乗務員や不特定多数の利用者が頻繁に触れる箇所はこまめに消毒しています。また、座席に掛ける布については定期的に洗濯しています。

3 車内の空気の換気



エアコンによる外気導入や窓開け等の車内換気を行っています。
バスは約3～5分、タクシーは約1分で車内の空気の入れ替えが可能です（自動車技術交通安全環境研究所による実験）。